

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年7組

【発言項目】

○課題テーマ 「城下町の設備の不足について」

○内容

【問題】

- ・ゴミ箱が少ない
ポイ捨てが増えて環境汚染へとつながる
- ・地図が少ない、見づらい
現在の地図は文字が小さく複雑で余計な情報が多い。観光客からすると、紙地図は荷物になり、高齢者や外国人にとっても見づらい。
- ・駐輪場、駐車場が少ない
自転車を押して歩くのは大変で、駐車場が空いていないと遠いところへ止める事になる。
- ・カーブミラーがなく危ない

【解決策】

- ・IoTスマートゴミ箱を設置することで、環境にやさしく回収回数の削減へとつながる。
- ・城下町付近に駐輪場・駐車場を設置することで、アクセスが良くなりさらに活性化できる。
- ・木材でカーブミラーを作ることで、城下町の雰囲気を残しつつ安全に観光できる。
- ・ディズニーアプリを参考し、城下町のイベントをコンパクトにまとめることができ計画が立てやすくなる。

【議員からのフィードバック】

今回のテーマが設備の不足については良かったと思います。一番良かったのは、単に問題点を指摘することで終わったのではなく、それに対してどういった解決策があるかを、調査されて発表までもっていったことだと思います。IoTスマートごみ箱や、木材でカーブミラー、紙ベースからアプリを利用した案内の情報など、とても良く勉強されたと思います。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年3組

【発言項目】

○課題テーマ 「城下町の人気の食べ物」

○内容

城下町に観光客が多い理由として、昔ながらの街並みがあり歩くだけでも楽しめること、若者の写真映えになる食べ物（フルーツ飴、ソフトクリーム、おしゃれなジュース）があること、また、プリクラ機が設置され、友達やカップルでプリクラを撮ることができることが上げられる。

【問題】

ゴミが道端にポイ捨てされたり分別がされないことで、処理に手間がかかり環境にも影響を与えることが想定される。

【解決策】

- ・串入れ（竹串）の回収
- ・店舗での回収依頼
- ・仮設ゴミ箱の設置
- ・住民・観光客の協力

【実現したい未来像】

若者に人気な店をもっと見やすいところに設置し、さらに若者向けの店を増やすことである。

【議員からのフィードバック】

個人的には若者であふれ返る城下町を目指しています。高校生の皆様のご意見は大変貴重です。ゴミ問題は重要です。現在は、観光客に責任持って買った店に引き取ってもらうのが基本的な考え方ですが、街歩きが犬山観光のスタイルですので、行く先々でゴミを捨てられるようにすべきと思います。皆さんのアイデアも取り入れて、ゴミが観光客の負担にならないようにしたいです。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年2組

【発言項目】

○課題テーマ 「犬山市の魅力を他の地域の人に伝えるには」

○内容

城下町や犬山城は思い浮かぶが、テーマパークなどはあまり話に出てこない。犬山市と言ったら「これ!」というものを作ったり発掘することで知名度をあげることができると思う。

【問題】

- ・城下町だけでは長く時間を過ごすことができない
- ・高校生が遊べるところが一部しかない

【実現したい未来像】

「ドラゴンズの二軍球場」を誘致し、試合前後に城下町で手軽に食べ歩きをする流れを作り、県内だけでなく岐阜県などから城下町に来る人を増やし利益拡大へとつなげる。

【議員からのフィードバック】

ドラゴンズ二軍球場等、夢のある提案ありがとうございます。犬山には、モンキーパークや明治村、入鹿池（釣り）等、多様な客層が楽しめる観光資源があるのですが、それらが繋がっていないのが課題の一つ。岐阜県からの観光客の流れも含め、もっと周遊しやすく、歴史からアウトドアまで周遊して楽しめる特徴ある観光地となるよう、研究し提案していきます。

【令和8年3月4日一般質問内容】

若年層のサードプレイスについて、相談しやすい空気を作るためにも、中高生の居場所づくりについてはどのように考えているのか。

【市の答弁】

中高生までをターゲットとした施設と言えるのは、本市においては児童センターとなりますが、児童センターで放課後児童クラブを実施してきたことから、児童センターが小学生までが利用する施設と認識されてきました。現時点で、中高生の居場所づくりとして新たに何かを整備するという考えは持っていませんが、少子化などにより児童センターをとりまく環境も変わっていきますので、部屋の一部を中高生専用とするなど、中高生でも使いやすい形を考えていきます。

【令和8年3月10日一般質問 ①】

高校生たちが集まれる場所を作るのが重要だ。市としてサポートできるか。

【市の答弁】

市内で高校生が自由に利用できるスペースは、市役所本庁舎、市民交流センターの協働プラザ、楽田ふれあいセンター、南部公民館のするすみ交流センターのフリースペースの外、18歳までの児童を対象とした各児童センターなどがあります。

そのうち、協働プラザの取組として、犬山総合高校と連携した「地域探求学習」への協力をはじめ、各事業において高校生に参加いただけるよう連携を深めているところです。今後は、こうした高校生との連携の機会を活用し、情報発信をすると共に、市民参加の一環として、市内に点在する資源について、自分たちが楽しんで活用できる場所を高校生が自分たちで話し合い、考え、提案できるような機会も創出していきたいと考えています。

【令和8年3月10日一般質問 ②】

中日ドラゴンズ2軍本拠地誘致について。候補地をどこに考えているのか。

【市長の答弁】

鉄道駅からの距離や候補地までの道路状況、利用しやすい土地形状で十分な面積が確保できるかなどを重点に、検討しているところです。基本的に、市街化区域には、誘致に必要とする6ヘクタール以上のまとまった土地を確保できないことから、市街化調整区域の農振農用地が広がる区域になると考えています。

犬山の新しい可能性を引き出すため、誘致に本気で取り組んでいきます。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年5組

【発言項目】

- 課題テーマ 「若者に愛される安心安全なライトアップ城下町」
- 内容
城下町は、道が狭くて暗く、デコボコしており、子供や若者が少ないと感じた。

【問題】

- ・子供へのイベントが少ない
- ・観光客が多くて工事ができない
- ・観光客が細かい道をしらない

【解決策】

- ・床にライトを埋め込むことで、城下町の雰囲気を変えず明るくする。
- ・わかりやすい地図を作ることで、城下町を理解でき、いろんな通り道がわかるため人の分散ができる。
- ・アニメとコラボしたイベントや、学生との共同イベント（からくり文化部）、また、縁日を行うことで、若者（特に幼児）にたくさん来てもらうことができる。

【議員からのフィードバック】

道の狭さ・暗さ、外国人観光客に比べて子どもや若者が少ないという問題をご指摘いただきながら、地上埋設型の照明や、アニメとのコラボで聖地を作るなど夢と可能性のバランスの取れた提案をいただきました。また、学生との共同イベントといった自ら参画していく姿勢も素晴らしかったですと思います。「光をください」という大変熱意のこもったプレゼンテーションに「光を差しあげたい」と思いました。具体的にどう現実していくのか、研究してまいりたいと思います。

【令和8年3月5日一般質問内容】

観光回遊性の向上と、歩行者安全確保を兼ね備えた地面埋め込み型照明の木曾川河畔への導入を検討できないか。

【市の答弁】

「犬山市かわまちづくり計画」（令和7年8月登録）では、国土交通省と工事内容等の協議を進めており、近隣住民との意見交換も行われていますが、具体的な整備内容はまだ決まっていません。

木曾川河畔内田地区の遊歩道整備においては、空間の高質化と安全確保の観点から照明設備は重要な事業と考えており、提案された地面埋込型照明についても、関係法令を確認しながら、検討事項の1つとして参考にさせていただきます。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年4組

【発言項目】

○課題テーマ 「モンキーパーク、モンキーセンターをリノベーション」

○内容

モンキーパークを10代の方がもっと楽しいと思える場所にしたい。

【問題】

- ・代表する有名アトラクションがない
- ・奥地にあるため交通が不便である
- ・付近には何も無い
- ・絶叫系が少なく、小さい子供しか来ない
- ・コスパが悪い
- ・他の遊園地が増えて存在感が薄れる
- ・映えのスポットがない

【解決策】

- ・SNS宣伝にもっと力を入れる
- ・絶叫系アトラクション建設のための資金を貯める

【議員からのフィードバック】

みなさんからモンキーパークのリノベーションについて、小さい子ども向けだけでなく、高校生もワクワクするようなアトラクションが欲しいという意見をいただきました。

とても大切な視点だと思います。

現在、日本モンキーパークは、小さな子ども連れのイメージが強いですが、若い世代が楽しめる場所になることは、まちの魅力を高めることにもつながると感じました。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年6組

【発言項目】

○課題テーマ 「安心安全な町にするために交通設備を整える」

○内容

犬山市をよりよくするため安全という観点から交通設備と整える提案をする。

【問題点】

- ・街灯が少ない。
- ・信号機のない横断歩道が多い

【原因】

- ・市の資金が足りない
信号機や横断歩道を設置するには高額なお金がかかる
- ・設置基準が満たされない
優先度が高いところから設置される人通りが少ないところには設置されない

【解決策】

LEDライトを使うことで、少ない費用で信号機や街灯を設置することができ、車と生徒の事故の減少や、通勤中の人にも決まったタイミングで通れるため、安全性が確保できる。

【議員からのフィードバック】

初めに、犬山市を「安心安全な町にするために」との視点に立っていただき、ありがとうございます。市の財政や設置基準の制約にも触れられて現実的な分析がされており、それらを踏まえてLED化によるコスト削減という視点は非常に有効であると考えます。市議会としても「犬山市をよりよくする」との視点で今後も取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

犬山高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和8年2月18日（水）午後4時～午後5時
- 会場 犬山高校
- 対象 1年1組

【発言項目】

○課題テーマ 「公園を増やそう」

○内容

【問題】

公園が少ないため、外で遊ぶ子供が少ないと感じた。

【原因】

- ・ 少子高齢化による利用者の変化
- ・ 安全基準強化に伴う老朽遊具の撤去
- ・ 騒音苦情など近隣環境への配慮
- ・ 自治体の財政・管理負担の増加

【課題】

- ・ 老朽化した遊具の更新をしていくこと

【解決策】

- ・ 募金活動をする
- ・ 高齢者向けの健康遊具を増やす（幅広い年齢層が公園を利用できるから）

【未来に向けて】

- ・ 高齢者向けの健康遊具を増やす
- ・ 公園を増やすと共に利用者を増やす

【議員からのフィードバック】

市内には街区公園と言って、団地にある小規模な公園から、都市公園、防災公園と公園は多数ありますが、おっしゃる通り、遊具の老朽化や、整備不足な部分も否めません。高齢者の多い団地にある公園には、健康遊具も取り入れて、利用しやすい公園になるよう更なる研究提案していきます。